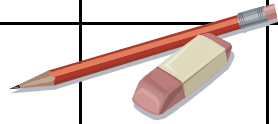
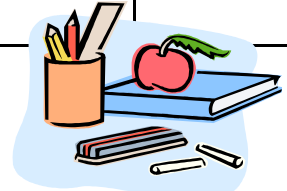


平成25年度 看護部年間教育計画

領域	ねらい	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	担当者
新入職者・中途採用者研修	組織人、社会人としての自覚を持つ。病院の概要・看護部の組織を理解する。		接遇・コミュニケーション・医療安全・感染対策・リハビリテーションとは、針刺し事故、予防接種・個人情報・医薬品の安全管理・感染性廃棄物の取り扱い・FIM・防災訓練(初期消火)・総合実施計画書・カンファ・看護必要度・看護記録・看護部オリエンテーション			看護者の倫理綱領			看護必要度					看護者の倫理綱領	各科教育委員会
新人研修	組織や職場の先輩や臨床心理士からの精神的なサポートを受けリアリティーショックの緩和を図る	入職前研修Ⅰ 入職前研修Ⅱ	ほっとライン面談		3か月目フォローアップ ほっとライン面談				6か月目フォローアップ						本部教育
	アイナースプログラム		褥瘡・スキンケア	BLS・急変時の看護	フィジカルアセスメント		KYT			認知症患者の看護			ナラティブ		ブロック教育
			口腔ケア 心電図の見方 移乗動作・ポジショニングROM訓練・歩行介助		看取りの看護	人工呼吸器 心電図の見方		体位ドレナージ フィジカルアセスメント							
	院内に定められた看護手順に基づいた完全な看護技術の知識と手技を習得することができる		「日々の受け持ち看護師」オリエンテーション 注射・採血・入浴介助 排泄援助・心電図 1ヶ月評価	「受持ち看護師」オリエンテーション フィジカルアセスメント(バイタル) 1ヶ月評価	看護過程Ⅰ	「夜勤業務」オリエンテーション 3ヶ月評価	フィジカルアセスメント(呼吸音)	看護過程Ⅱ 輸液ポンプ・シリンジポンプ	フィジカルアセスメント(意識レベル) 7ヶ月評価					1年評価	各科の医師
疾患・治療セミナー(全員)	基礎的な疾患・治療の認識から看護のポイントをつかむ			脳血管疾患	運動器疾患				心大血管疾患						
基礎看護	院内に定められた看護手順に基づいた完全な看護技術の知識と手技を習得することができる			BLS		フィジカルアセスメント	BLS			BLS		BLS			
リハビリ看護	回復期リハビリの役割を理解し当院におけるリハ看護の提供に必要な基礎知識と技術を習得し、質の高い看護の提供を行うことができる		回復期病棟での入院～退院までの流れ	診療報酬	介護保険の仕組みと活用	退院支援 ICF	摂食・嚥下(NST)	FIM 多職種合同研修(入職4年目)	FIM	排泄	障害受容と患者心理	認知症患者の理解	ケーススタディ発表会(レベルⅠ) 多職種合同研修(入職1年目)	看護研究発表会(レベルⅢ)	リハビリ科各委員会
看護助手	看護補助業務を遂行するために必要な基本的な知識・技術を学習し、技能を習得する		看護補助者の業務・責任・態度 自己の健康管理 看護部理念	人間関係とチームワーク コミュニケーション技術	報告・連絡・相談 記録の重要性	患者状態の観察のポイント・異常状態の把握と報告	介護技術研修								師長・主任会
医療安全 リスクマネジメント	職業人として「安全管理」の必要性を理解する。当院のリスクマネジメントを理解し安全に看護ケアを行うことができる。		医療安全について(講義) 医療機器の使用 医療ガスの取り扱い				医療安全研修				医療安全研修				安全管理者
感染防止対策	基本的な感染防止対策について理解する。当院における院内感染対策を理解し、実施レベルの活動に必要な基礎知識・技術を修得する。		手指消毒を中心とした標準予防策 針刺し事故対策と健康管理① 感染性医療廃棄物	感染対策委員会の役割(感染委員+所属長)	感染症と感染経路別予防策	院内ラウンドの定義(新入職者)		食中毒及び感染性胃腸炎の対応	針刺し事故対策と健康管理②(中途入職者)	インフルエンザについて(各部署)	インフルエンザについて(各部署)			針刺し事故対策と健康管理③(中途入職者)	感染対策委員
褥瘡	褥瘡に対するケアを修得する。		創の状態に応じた薬剤・創傷材料の選択							研修					褥瘡委員
その他				接遇		医療ガス		消防訓練				倫理	セクシャルハラスメント・パワーハラスメント	院内研究発表会	教育委員会
専門性の強化(レベルⅡ以上)		感染管理(未定) 認知症看護(未定) 呼吸管理(未定)	フィジカルインストラクター(全13回) フットケア(全8回)		心電図基礎コース(全8回)										
管理職育成	専門領域における看護実践能力を身につけ、リーダーシップに必要な知識を学び、リーダーシップを発揮することができる	主任研修(未定) 倫理(未定)	師長研修(全6回) 中堅幹部講習会(全4回) リーダー・日タリター育成研修(全6回)	BSC(基礎)	BSC(集中)				リーダーシップ	実習指導者(レベルⅡ・Ⅲ)					

本部研修
 ブロック研修
 公開研修
 看護補助者研修
 赤字: 全職種対象
 レベルⅠ: 卒後2・3年 レベルⅡ: 卒後4～6年 レベルⅢ: 卒後7年目以上